

平成 30 年 8 月 31 日

～ 友好都市の名産品がやってきた！～

「すみだ まち処」で企画展『友好都市交流展』本日スタート

本日から、「産業観光プラザ すみだ まち処」（押上 1 - 1 - 2）で、企画展『友好都市交流展』がスタートした。これは、墨田区と友好協定を締結している「長野県小布施町」、「山形県鶴岡市」、「栃木県鹿沼市」の三都市との交流内容及び、各都市の持つ魅力をスカイツリーへ訪れた方などに広く知ってもらうために開催するもの。

会場では、各都市の魅力を伝えるパネル展示と、特産品の即売を実施。中でも、産地直送の“秋の味覚”がおすすめ。「小布施町コーナー」では、町の紹介パネルと、英国でクッキングアップルの王様と称されているという“ブルムリー”という料理用の青いリンゴを紹介。ブルムリーとチェリーのジャムのほか、栗菓子等を即売している。「鶴岡市コーナー」では、市の紹介パネルと、特産品のシルク製品のストールのほか、木の皮の繊維を糸にした“しな織り”の財布やコースターなど、職人技で作られた製品を即売。「鹿沼市コーナー」では、市の紹介パネルとそば畑などの映像をモニターで紹介しながら、鹿沼こんにゃく、月山やまぶどうジュース、はとむぎを使ったお菓子である“はとむぎぼんぼん”などの特産品を即売している。

今年も特別企画として、墨田区内のお店で各友好都市の物産食材を使った、お菓子やジャム、ジュースなどを販売。まち処を飛び出して、第一ホテル両国（横綱 1 - 6 - 1）や SASAYA CAFÉ（横川 1 - 1 - 10）では各友好都市の名産を食することができるほか、墨田区のお休み処“おしなりくんの家”でも楽しむことができる（数に限りあり）。墨田区の友好都市を堪能できる本企画展は、9月5日（水）まで開催。



< 友好都市交流について >

墨田区では、平成 8 年以降、「長野県小布施町」、「山形県鶴岡市」、「栃木県鹿沼市」の三都市と友好協定を締結し、それぞれの都市が持つ特性を活かして、文化・教育・スポーツ・防災等幅広い分野で交流を行っている。小布施町は、葛飾北斎ゆかりの地という共通性をもち平成 8 年 5 月に協定を締結。平成 9 年に締結した時は朝日村だった現・鶴岡市とは、自然や歴史等の地域特性を活かし「わんぱく天国“わんぱく雪まつり”」への雪の提供、少年サッカー交流などを行っている。平成 24 年 10 月に協定を結んだばかりの鹿沼市とは、昭和 53 年に校外宿泊施設“あわの自然学園”開園以来、交流を続けている。いずれの都市も“すみだまつり物産展”に出展をしており、墨田区民にとっては、なじみ深い地域ばかり。